

いさやま大介

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年4月の神戸市会選挙に灘区から出馬し、8,127票を頂き初当選。
経済港湾委員会所属。

議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.12

小学校にプログラミング教育が導入されます。

新学習指導要領においては「情報活用能力」が重視されており、
2年後の2020年度から小学校において「プログラミング学習」
の必修化が決定している。



これは、算数や理科など既存の教科の中でプログラミングを体験しながら、
論理的思考を身につけることを目的とする。

大学入試科目に「プログラミング」など情報科目の導入も検討されることを踏まえ、
「教員研修等の在り方」「社会との連携・協働」「ICT環境の整備」等の、
神戸市での取り組みを、教員の経験を活かして質疑。

民間のネットワーク「地域連携ICT推進協議会」や大学、高等専門学校と
協力・連携しながら取り組むとのこと。



▶ 平成30年6月議会 一般質問①



▶ 同左 一般質問②

食品ロスの削減を目指します!

家庭で消費しきれない食品を持ち寄り、食支援を必要とする人へ届ける取組『フードドライブ』については、事業の入り口としての『食品ロス削減』の観点だけでなく、出口としての福祉的・子育て支援の観点も含めた、総合的な支援を行うべきではないか、と質疑。神戸市として、関係部局で検討し持続可能な取組となる仕組みを構築していくとのこと。



↑フードドライブ 1.17 チラシ

特殊詐欺被害にご注意!



神戸市における認知被害件数は、平成29年度は245件と前年度117件の大幅な増加。特殊詐欺被害防止へ「不審電話を撃退する警告機能付きの通話録音装置」の普及に、県と市が協調して努めるよう要望。

ICTを活用した地域課題解決を!

神戸スタートアップオフィス事業の参加企業で、神戸市に本社を構えるスタートアップ企業に、関西で初めて「500 Startups Japan」から資金調達が行われた。この企業の事業は、ICTを活用して地域・行政課題解決できる可能性を持つ。このような企業の可能性およびサポート体制について質疑。

身を切る改革に取り組んでいます!

1. 議員定数削減（各区1減、全体9減）を提案!

議会に提出された定数維持69名（東灘区1増、長田区1減）案には反対し、いさやま大介が所属する会派から議員定数削減案を提出しました。



他の人口150万都市、たとえば福岡市（人口153.8万人）の議員数62人と比較すると、神戸市（人口153.7万人）の議員数69人は明らかに多い。人員の過剰を是正し、他都市並みに適正水準を実現するためには、現在の定数69人を60人まで減らす大胆な議会改革が必要であります。

改革により浮いた予算は（年間あたり約1億3500万円）は、福祉・教育・子育てといった必要分野に回すことができます。

2. 議員年金の復活を許さない!

かつて廃止になった「地方議員年金制度」復活が国において検討されています。莫大な税金が投入される制度であり、議員だけ特別扱いは許せません。「地方議員年金制度の復活等に反対する」内容の国宛ての意見書が2通り議会で提出され、いさやま大介はどちらにも賛成しました。

3. 政務活動費50.5%返還!

平成29年度は会派全体（4名）で、総支給額の50.5%、約920万円を神戸市に返還しました。実行していることは・・・

- ・ 支給全額使い切りの発想ではないこと。
- ・ 慣例に縛られず、用途と目的を効果のあるものに絞ること。
- ・ 自身の報酬から活動費を捻出し、余らせた政務活動費を返還していること。

いさやま大介

委員会・街頭
活動風景



▶ 平成 30 年6月 常任委員会



▶ 同左 王子公園駅

市政を身近に!

市バス 16 系統は 10,195 人 / 日 (H28) が利用する
神戸市内屈指の混雑路線で、バス待ち行列は朝の
風物詩 (右写真)。

改善のため、予算要望事項に挙げました。

現在、大学敷地内まで運行する直行便 (朝5本) が
阪急六甲・六甲道より運行中。



↑ 朝の六甲道風景

36 系統、16 系統の混雑緩和に向けて、神戸大学への直通バスを通すこと。
また、神戸大学と情報交換を密にして、オープンキャンパスなどの行事には
適正な本数の臨時便を運航すること。

また、18,396 人 / 日 (H28) が利用する2系統の混雑
緩和のため、停車するバス停を学生の利用が多いバス停
に限定したルートのバスも運行中。



三宮駅ターミナル前→地下鉄三宮駅前→布引→青谷→神戸高校前→摩耶ケーブル下

いさやま大介事務所

〒657-0816

神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階

(※上野中学校の西側、「五毛天神東」交差点のそば)

電話：070-1930-2368

FAX：078-271-3707

討議資料



info@isayama-daisuke.jp



http://www.isayama-daisuke.jp/



諫山大介

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年4月の神戸市会選挙に灘区から出馬し、8,127票を頂き初当選。
経済港湾委員会所属。

議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

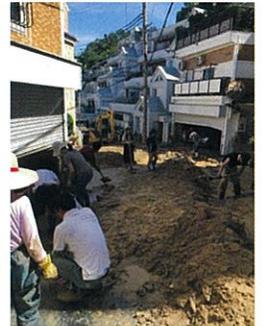
発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.13

災害に備えた業務継続および電源対策を!



灘区篠原台地区などに大きな被害をもたらした7月豪雨、そして8月9日には災害級の超大型台風が何度も神戸に上陸するなど、この数か月は、風水害などへの対応を余儀なくされました。



↑ 発災後の篠原台地区

平成29年度決算特別委員会の局別審査では5つの局を担当し、その一つ『危機管理室』において、「災害時における行政の業務継続性」「災害時における通信手段の確保」などをテーマに質疑しました。



避難行動に大きな影響を与える「スマホの電池切れ対策」については、非常用電源を保有する施設との協定、避難所等への充電サービス確保、移動可能な蓄電池を有する充電スポットの整備について考えていきたい、とのこと。

いさやま 大介

決算特別委員会
活動風景



▶ 平成30年9月 局別審査

▶ 同左

地元の課題に取り組んでいます！

○鶴甲会館を活用した鶴甲団地の今後 地域 について

「鶴甲まち開き 50 周年記念事業」

が盛大に行なわれている鶴甲団地。

リニューアル予定の「鶴甲公園」内での整備が進められている「鶴甲会館」および、それらを軸とした今後のまちづくりについて質疑。



↑ 鶴甲まつり（9月）の様子

児童館、図書コーナー、音楽室、各種会議室などの機能を備えた会館について、どのように地元の意見を反映させたか、今後の運営は、など。

★ 学生時代を鶴甲キャンパスで学びました。この地域のさらなる魅力向上を！

○「まやビューライン」と「六甲ケーブル」について 交通・観光

過去2年間における運行社会実験において、実施期間の乗車人数が例年比2倍から6倍と大幅な増加結果となった。その総括を観光施策および通常の料金体系にどう反映させるのかを質疑。（以前よりの継続内容）

★ 月1回、大人ワンコイン500円・こども無料などファミリー層が利用しやすい仕組みづくりを要望。イニエスタ選手も訪れる摩耶山を盛り上げます！



新しい発想で、課題解決を！

○須磨海岸のバリアフリー化 福祉・観光 について

NPO 団体「須磨ユニバーサルプロジェクト」は、丈夫なビーチマットを活用して、車いすやバギー利用者が海まで行けるようサポートをする活動をしている。

この事例を含めて、須磨海岸のバリアフリー化について質疑。

★ 新しい発想で課題解決を目指す団体を応援しています！



ビーチマットを敷いた須磨海岸

○神戸の自然を生かした「ワーケーション」 移住 について

移住施策に関し、2拠点型・多拠点型で活動するフリーランス誘致について質疑。デザイナー・クリエイターといった「都市型創造産業」集積の具体策の1つに「ワーケーション」〔ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語〕がある。今後、海・山・里山といった神戸の魅力あるロケーションを活用した「神戸ワーケーションプログラム」が実施されるとのこと。

○モデル型商店街・市場 暮らし について

商店街・市場に派遣されている「応援隊」およびモデル型商店街・市場について質疑。

アレルギー表示に有効な「フードピクトグラム」を活用した在住外国人・子育て世帯への対応型や来店予測AI活用型など、新しい発想や技術を取り入れたモデル型商店街・市場の研究を要望。



↑ピクトグラムを用いた表示方法

○消防局の広報 防災 について

「youtube」を使った動画配信など、消防局の効果的な広報について質疑。フジテレビKIDSと連携して作成した動画「ガチャピン・ムックの火の用心」は、神戸の観光・グルメの要素を取り入れ、企業等の協賛・協力により公費を使わずに制作。新しい発想の広報を！



↑消防局の広報動画より

スポーツを通じた国際交流を!

ニュージーランド水泳連盟の東京オリンピックおよび世界選手権の事前合宿地が神戸市に決定しました。

ポートアイランド SC プールや王子 SC プールが練習場所になります。

神戸の子どもたちにとって、世界トップレベルの泳ぎを見られること、代表選手との交流は貴重な経験となること、まちがいありません。

平成27年11月議会、初めての一般質問において、「事前合宿誘致」をテーマに質疑。

関係機関の粘り強い努力により、実現しました!

2019 年から始まる3年間、

ラグビーワールドカップ 2019

東京オリンピック・パラリンピック 2020

関西ワールドマスタースゲームズ 2021

世界規模のスポーツイベントが集中するゴールデンスポーツイヤーズ。

世界が注目する絶好の機会を

一過性のイベントとして終わらせるのではなく、

いかに神戸市の財産としていくのが課題です。



↑ 8月の協定書締結式に参加



↑ 代表選手との交流会の様子

いさやま大介事務所

〒657-0816

神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階
(※上野中学校の西側、「五毛天神東」交差点のそば)

電話：070-1930-2368

FAX：078-271-3707

討議資料

 info@isayama-daisuke.jp

 <http://www.isayama-daisuke.jp/>  諫山大介

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年4月の神戸市会選挙に灘区から出馬し、8,127票を頂き初当選。
経済港湾委員会所属。(平成31年3月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

市政を身近に



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL: 078-322-5845
FAX: 078-322-6171

Vol.15

平成31年度当初予算案に対し、会派を代表して質疑しました



ヤミ専従問題に関連する組織風土の改革について

ヤミ専従については、神戸市会で発生した「政務活動費不正流用問題」と等しく納税者の立場から決して許されるものではないことを指摘しました。退職者を含めて190人近くに処分を出す今回の問題を受けて、徹底した市役所改革を進めていくため、市長部局にも「組織風土改革の有識者会議」が設置されるべきと質疑しました。



▶ 平成31年2月代表質疑

「8050（はちまるごーまる）問題」について

かつて、ひきこもりは若者の問題としてされていましたが、時間の経過とともに高齢化し、50代の中高年のひきこもりの子を80代の親が面倒を見るケースが増えている社会現象は「8050（はちまるごーまる）問題」と呼称されています。

2016年の内閣府の実態調査では、広義のひきこもりの状態の人が全国54.1万人としましたがあくまで39歳までの数字であります。内閣府は40～59歳を対象にした初の実態調査を行い、全国の推計人数を算出する予定です。

「8050問題」の主な原因である「おとなのひきこもり」対策について質疑しました。

避難所の環境改善に向けて！

平成31年度
予算

- ☑ 緊急避難所となる小学校へ段階的に充電バッテリーが整備
- ☑ 避難所となる小中学校 120校の特別教室（各校1室）および体育施設（王子スポーツセンター身体障害者体育館など）へ空調が整備



【平成30年決算特別委員会（危機管理室）】

避難行動に大きな影響を与える「スマホの電池切れ対策」について、避難所等への充電サービス確保など「災害時における通信手段の確保」をテーマに質疑しました。



教育現場の環境向上に向けて！

平成31年度
予算

- ☑ 高羽小学校の密化対策を具体的に実施
- ☑ 電子黒板等のICT整備が、まずは半数の小学校（約80校）で進み、今後、残りの小学校と中学校・高校・高専に整備予定
- ☑ 暑さ対策として、スポットクーラーなどの空調設備が体育館に設置

【平成30年 予算特別委員会（教育委員会）】

高羽小学校地域の過密化問題について、関係機関の調整含めて前に進めて欲しいと要望しました。

【平成30年6月議会 一般質問】

2020年度から小学校において必修化が決定している「プログラミング学習」に関して、「教員研修等の在り方」等の取り組みを質疑し、同時に、タブレット等のICT機器の整備が効果的であると、要望しました。



【平成30年 決算特別委員会（教育委員会）】

給食の献立表へのアレルギー成分の表記をわかりやすく絵文字（ピクトグラム）でも記載すべきではないかと提案しました。

外国の児童・生徒と保護者でも献立表に含まれる「アレルギー」を確認しやすいという理由です。

この3学期より、小学校給食に絵文字「フードピクト」と英語を併記した対比表が提供されています。

使用食品一覧表 対比表 ※使用食品一覧表と対比してご覧ください。
Potential allergen comparison table ※Please compare with the used food list.
本表の「No.」と「使用食品一覧表」の「No.」は同じ食品を示しています。
(The "No." on this table and the "No." on the used food list show the same food.)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ピクトグラム									
日本語	卵	乳	小麦	大豆	落花生	エビ	かに	あわび	いか
English	Egg	Milk	Wheat	Soya / Soyabean	Peanut	Shrimp	Crab	Abalone	Squid
新たなアレルギー成分の追加	No.	10	11	12	13	14	15	16	17
ピクトグラム									
日本語	いくら	オレンジ	カシューナッツ	キウイフルーツ	牛肉	くまquat	ごま	さけ	なかくら
English	Salmon roe	Orange	Cashew nut	Kiwi fruit	Beef	Kumquat	Sesame	Salmon	Nackarel
新たなアレルギー成分の追加	No.	18	20	21	22	23	24	25	26
ピクトグラム									
日本語	大豆	大豆	鶏肉	豚肉	豚肉	豚肉	豚肉	豚肉	豚肉
English	Soybean	Soy	Chicken	Pork	Pork	Pork	Pork	Pork	Pork

▶ 「フードピクト」を用いた献立対比表

港町の魅力を再発見！

平成31年度
予算

- ☑ 神戸ポートタワーのリニューアルと近辺エリアの再整備
- ☑ 大型客船の入港に対応するため、新港第3・第4突堤間の埋立（バス待機スペースの確保）を行うなど受け入れ体制が強化

【平成31年 予算特別委員会（みなと総局）】

去年は過去最高の141隻の客船が入港しました。客船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ（16,9万トン）」の初入港が予定されるなど、今年も同程度の見込みです。



▶ 神戸ポートタワー ▶ 摩耶山上から見た、アジア最大級の豪華客船

また、ウォーターフロント地区の魅力向上のため、

中突堤周辺地区では施設の再整備等が検討されています。

客船誘致の強化と港町のシンボル「神戸ポートタワー」等のリニューアルについて質疑しました。

災害対策に新しい技術の導入を！

平成31年度
予算

- ☑ 民間事業者と引き続き協定を結び、災害現場などにドローンを活用
- ☑ 総務省消防庁無償使用制度を活用した消防用ドローンを採用
- ☑ VR(仮想現実)で土砂災害の疑似体験するプログラムを開発

【平成31年 予算特別委員会（危機管理室／消防局）】

AI(人工知能)などの新しい技術を用いて、災害対策に活用するべきとの考えから、VR(仮想現実)やドローン(無人飛行機)を活用した取り組みについて質疑しました。



▶ 神戸上空を飛ぶドローン

スポーツ施設の再整備を！

平成31年度
予算

- ☑ 「スポーツ施設のストック適正化計画」を策定
- ☑ 垂水スポーツガーデン敷地内に新体育館を整備
- ☑ 2021世界パラ陸上競技選手権大会の誘致を目指し、ユニバー記念競技場のトラック等を再整備



【平成31年 予算議会 代表質疑】

市民が日常的にスポーツに親しみ楽しむことのできる環境を整えていく中、

「スポーツ施設のストック適正化計画」策定にあたっての狙いについて質疑しました。

議会風景



▶ 平成31年2月 予算特別委員会

▶ 平成31年2月 会派代表質疑

「チャレンジ都市神戸 ～IT 起業家との官民連携～」について

神戸市では、地域・行政課題を解決するアイデアやノウハウを持つスタートアップと市の職員が協同でその解決手法を生み出し、ビジネス展開を目指す官民一体型新ビジネス「アーバンイノベーション神戸」を本格実施し、いくつかの課題で実証実験を行い成果を得ました。

- ・ 開発したタブレットツールで、来庁した市民への案内時間を半減
 - ・ 医療費助成に関するレセプトのエラー確認作業では、手作業で行っていた業務の4割を自動化
- 公共の場を活用した「官民共創の仕組みづくり」を加速すべきであると質疑しました。



▶ スタートアップの開発したタブレットアプリ

元号改元における対応について

来たる5月1日、約 200 年ぶりとなる、あらかじめ期日が定まった天皇陛下の退位が行われ元号が改元されます。システム改修や市民への周知を含めた対応について質疑しました。

市政 130 周年を迎える神戸市が大きく飛躍する年として期待し、平成 31 年度神戸市各会計予算案及び関連議案合計 59 議案について、要望 16 件を付して承認しました。

要望事項の一例

- ・ 重度心身障がい児・者の家庭への災害時非常用電源確保に取り組むこと。
- ・ 保育所入所を希望する際、出産月によって生じる機会不平等を起こさないように努めること。
- ・ 市営住宅における福祉・介護車両の無料専用駐車場の整備を積極的に進めること。



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

前島 浩一

まえじま こういち



皆様のご支援のお陰をもちまして、今年で議員活動36年目(9期)を迎えました。
今後も神戸市民のために、誠心誠意努力してまいります。



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階

TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

❖ 神戸市決算議会にて、代表質疑

活動報告①

平成30年9月26日(水)、会派を代表して平成29年度神戸市各会計決算及び関連議案に対して市長並びに副市長に質疑を行いました。併せて、決算特別委員会では交通局、水道局に対して質疑を行いました。代表質疑については、その詳細を一問一答形式でご報告いたします。



代表質疑のため登壇する筆者

Q1 ハザードマップの運用について

災害時におけるハザードマップの危険予測と実際の被害状況に乖離がある。7月に発生した集中豪雨の被害状況を検証後、ハザードマップに適宜反映させ市民への周知を図っていくべきと考えるが、見解は？

市の回答

▶ 今後の災害発生に対応するために各地域での被害状況をしっかり検証していくことが重要と考えている。浸水想定を含めた防災ガイド等をハザードマップに掲載し、市民への周知を行っていききたい。

Q2 三宮再整備について

三宮再整備の一環で先日策定された『「えき・まち空間」基本計画』の実現に向けての具体的な取り組みは？

市の回答

▶ 三宮駅前を人と公共交通優先の空間にする「三宮クロススクエア」は段階的に整備を進めていく。具体的には、平成37年頃(2025年)を目途に東側の歩行者空間の拡幅、平成42年頃(2030年)東側全体に駅へのアクセスや緊急車両のために導線を残しつつ人優先の空間を創出したい。賑わいある空間のために、民間業者とも協働していききたい。

Q3 将来の交通システムについて

新しい交通手段として、各地でLRT(次世代型路面電車システム)、BRT(バス高速輸送システム)、レベル3の自動運転モビリティ(緊急時を除く限定条件時の車無人運転システム)が検討されている。三宮再整備を進める上でこれらを視野に入れた道路インフラ整備も必要と考えるが、見解は？

市の回答

▶ 10月に都心とウォーターフロントを結ぶ連節バス運行の社会実験を予定している。自動運転化への対応やパーソナルモビリティの拠点設置など、今後の新たな技術導入を見据えながら、未来志向の移動支援の導入に向けたターミナルや道路空間の整備を行うことを位置付け、民間や国などの関係機関と連携して検討を推進していく。

Q4 神戸市都市空間向上計画策定について

現在示されている神戸市都市空間向上計画では、西区や北区の多くの地域が駅周辺居住区域外(鉄道駅に徒歩でアクセスしにくい区域)に設定され、まちづくりは駅前を中心に行われることが想定される。この為、駅から離れた計画的開発団地では人口の流出が懸念され将来的に街が衰退しかねない。このような現象を防ぐためにも、計画的開発団地のリノベーションを早急に進め、交通施策を地域の実情に合わせて検討してもらいたい。

市の回答

▶ 鉄道駅から離れている一部の区域を「山麓・郊外居住区域」に設定し、良好な住環境に形成していくことを方針として掲げている。計画的開発団地のリノベーション、様々な交通手段による最寄り駅や拠点へのアクセス確保、豊かな農村地域との連携等々、地域の実情に合わせた取り組みを進め荒廃のリスクを減らしていきたい。

Q5 ギャンブル等依存対策について

IR法の成立を受けて大阪でカジノ誘致が進むなか、神戸市でもギャンブル依存症の増加が懸念される。県市共同で開設した「ひょうご・こうべ依存症対策センター」ではギャンブル依存に関する相談は全体の4割弱と決して少なくはなく、今後どのようにこの依存症対策を行っていくのか。

市の回答

▶ センターでは1~8月で187件の電話相談を受理し(そのうちギャンブル等依存症関係は72件で38.5%)、内容に応じて医療機関の紹介等を行っている。また、年内をめどに国が定める依存症治療拠点機関を市内に複数選定する予定であり、今後も関係機関と連携して依存症対策を着実に推進していく。

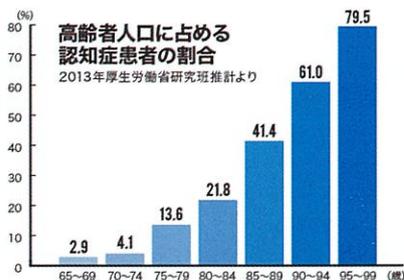
❖ 認知症にやさしいまちづくりを

活動報告②

現在、神戸市では全国初となる認知症対策「神戸モデル」の創設に向けた検討を進めております。「神戸モデル」とは、認知症に対する診断助成制度と事故救済制度を組み合わせた施策です。その財源は、市民の皆様から広く薄くご負担をいただく制度であり、全国初の新たな社会保障モデルとなる取り組みのことで、

「神戸モデル」の制度案については市民の皆様からも意見を募っており、平素から高齢福祉施設の充実を図って参りました私としても、より良いものになるよう今後も努力してまいります。

※意見募集期間は10/18をもって終了しました。



神戸市内の認知症高齢者数(推計)
2015年厚生労働省調査より算出

高齢者(65歳以上)人口	約420,000人
▶軽度知的障害の疑い	約55,000人
▶認知症患者数	約63,000人

認知症になっても安心して暮らしていけるまちへ

① 65歳以上の方は、医療機関が実施する2段階の認知症診断を自己負担ゼロで利用可能

② 認知症と診断された方には、賠償責任保険料を市が負担するなど手厚い支援を提供

③ 認知症の方が起こした火災・傷害等の事故に遭われた市民に見舞金を支給 ※自動車事故は対象外



❖ 管外調査(企業建設委員会) 福岡市、鹿児島市 8/28~30

活動報告③

福岡市 公園の有効活用

政令市ワースト1の待機児童(平成25年当時)を有していた福岡市が打開策として用いた**国家戦略特区(都市公園法の特例)を活用した都市公園内保育所占有事業**について説明を受けました。利便性が高い都市部にあっても比較的住みやすい福岡市では、都心部に住みながら保育ニーズを抱えた若い世代の要望に応えるべく、平成27年9月に施行された都市公園法の特例を活かして市内で検討を重ねた末に、一番の最適地として都心の博多区内の公園に公募の上、占有事業者を決定し、定員90名の保育所を開設しました。

福岡市 下水を活用した水素ステーション

福岡市において、産官学共同で実施している**下水汚泥から得られる水バイオガスを原料として水素を創出し、燃料電池自動車に供給する世界初のシステム**を視察しました。住みやすさ世界で7位の評価につながっている福岡市に負けないよう、神戸市でも産官学一体となった取り組みで、水素スマートシティの実現に寄与していきたいと思いを強くしました。

鹿児島市 交通事業の現状と経営改善

鹿児島市交通局では、路面電車と路線バスを運営していますが、昭和41年には財政再建団体の指定を受け、数々の経営改善策を実施してきました。その結果、路面電車は黒字で推移しておりますが、路線バス事業は現在も年間約5億円程度の赤字が続いており、存続維持のためには**民間事業者への一部路線の移譲等によるスリム化**を図りつつ抜本的な取り組みを進めることが求められているとのこと。運営委託や赤字路線対策で厳しい経営を迫られるバス事業や地下鉄海岸線を有する神戸市も、将来にむけて待ったなしの取り組みが必要と改めて痛感しました。



福岡市の水素ステーションを視察する筆者(写真中央)

❖ 西區市政相談

活動報告④

1 西盛口交差点の抜本的改善にむけて

神戸三木線と平野三木線とが交差する西盛口交差点は、右折だまりが十分でなく朝晩の渋滞がひどい上に、変形交差点のため大型車両の進行がスムーズに行きにくい等の課題があり、西区内でも最優先に改善すべき交差点と位置付けられておりますが、この度、改善に向けて動き出すことになりました。

神戸電鉄をまたぐ事によって生じた変形交差を普通の十字形に近い線形に変えることと、現在より大幅に右折だまりを延長する抜本的な取り組みです。

今後2~3年先の工事着手を目指し、地権者や地元のご協力を得て用地交渉を進めていくこととなります。

2 高齢者人口が突出している押部谷町にあんしんすこやか機能の拡充を

65歳以上の高齢者が地区ごとの集計で約1万人となる押部谷町には、現在あんしんすこやかセンターが1ヶ所設置されていますが、人口規模や地域の広域性から鑑みて相談機能の強化が求められています。

勿論、出張サービス等での充実にも努めていただいておりますが、今後ますます高齢者人口が増大することを考えると、5千人以下でもセンターが設置されている地区もあることから、**センターの複数設置や現センターのブランチ(枝分かれ)設置の検討**が急がれるといえます。

尚、高齢者人口が1万人以上の玉津町では、区域面積が比較的狭いことからサービス一元化の観点にたつて、現段階では一箇所の運営を進めていくとの方向です。それぞれの地域特性を生かした施設運営が重要といえます。



謹賀新年

皆様のご多幸を

心よりお祈り申し上げます

市政だより

ご健勝にて新春をお迎えのことと拝察いたします。

旧年中は温かいご指導、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。

さて、人口減少社会を迎える中で、神戸の魅力を外内に発信し、持続可能なまちとしての機能を高めるための取り組みが昨年でも進められました。

特に、高齢者に関しては、“認知症にやさしいまちづくり条例”の改正を行ない、全国初となる「神戸モデル」の創設をはかりました。その内容は、2段階の認知症診断と、認知症と診断された方による事故に対して市が掛ける賠償責任保険で救済する、などといった制度です。認知症は誰でもがなりうる病気です。これにかかる費用は、将来世代へと先送りするのではなく、市民のみなさまのうすく広いご負担（年額400円の超過課税）で賄うことにしています。

また、都心三宮の再整備をはかり、歩行者と公共交通優先のまちづくりを進めます。更に地元西区では、区役所の西神中央への移転にあわせ、文化・芸術ホールの整備等を通じて“神戸の西の顔”としてのまちづくりが進められます。

議会改革はまだ道半ばですが、引きつづき議員定数・議員報酬の削減等にむけて取り組んで参ります。

平成最後の年となりますが、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成31年 元旦

神戸市会議員 **前島 浩一**

(共創・国民民主神戸市会議員団 団長)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL:078-322-5845 携 帯:090-9715-7733

FAX:078-322-6171 発行 共創・国民民主神戸市会議員団

共創・国民民主神戸市会議員団 市政報告

平成 30 年 冬 号

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
TEL:078-322-5845 FAX:078-322-6171

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 1号館 29階
http://www.democratic-party-kobe.com/

今年度の活動を振り返って



前島 浩一 (西区選出・企業建設委員会)
新原 秀人 (兵庫区選出・都市防災委員会)
高岸 えいき (東灘区選出・福祉環境委員会)
いさやま 大介 (灘区選出・経済港湾委員会)

今年 4 月から、会派名が「共創・国民民主神戸市会議員団」に変わりました。改めて、市民の皆様の信頼と負託に応えるべく、時には当局へは厳しい苦言を含めて指摘、提案に努めて参ります。

○議員定数削減(各区1減、全体9減)を提案しました

議会に提出された定数維持 69 名(東灘区1増、長田区1減)案には反対し、わが会派から議員定数削減案を提出しました。

他の人口 150 万都市、たとえば福岡市(人口 153.8 万人)の議員数 62 人と比較すると、神戸市(人口 153.7 万人)の議員数 69 人は明らかに多いと考えます。

人員の過剰を是正し、他都市並みに適正水準を実現するためには、現在の定数 69 人を 60 人まで減らす議会改革が必要であります。



○政務活動費を 50.5%返還しました

平成 29 年度は会派全体で、総支給額の 50.5%、約 920 万円を神戸市に返還しました。全額使い切りの発想をもたず、用途と目的を効果のあるものに絞った結果です。

○「にこにこハウス医療福祉センター」を視察しました

しあわせの村にある重度心身障害者の入所・通所施設に伺い、運営内容及び神戸市の施設整備の状況などと併せて医療福祉コーディネートについてのレクチャーを受けて、視察を行いました。改めて会派として今後の課題を含め障害者福祉の充実を図って参ります。



決算議会にて代表質疑 前島 浩一 (西区選出)

平成 30 年 9 月 26 日(水)、会派を代表して平成 29 年度の決算及び関連議案に対して市長並びに副市長に質疑を行いました。主な質疑と市の回答をご報告いたします。



1. 神戸市都市空間向上計画策定について

現在示されている神戸市都市空間向上計画では、西区や北区の多くの地域が駅周辺居住区域外(鉄道駅に徒歩でアクセスしにくい区域)に設定され、まちづくりは駅前を中心に行われることが想定される。この為、駅から離れた計画的開発団地では人口の流出が懸念され将来的に街が衰退しかねない。このような現象を防ぐためにも、計画的開発団地のリノベーションを早急に進め、交通施策を地域の实情に合わせて検討してもらいたい。

【市の回答】計画的開発団地のリノベーション、様々な交通手段による最寄り駅や拠点へのアクセス確保、豊かな農村地域との連携等々、地域の实情に合わせた取り組みを進め荒廃のリスクを減らしていきたい。

2. ハザードマップの運用について

災害時におけるハザードマップの危険予測と実際の被害状況に乖離がある。7月に発生した集中豪雨の被害状況を検証後、ハザードマップに適宜反映させ市民への周知を図っていくべきと考えるが、見解は?



【市の回答】今後の災害発生に対応するために各地域での被害状況をしっかり検証していくことが重要と考えている。浸水想定を含めた防災ガイド等をハザードマップに掲載し、市民への周知を行っていきたい。

3. 将来の交通システムについて

新しい交通手段として、各地でLRT(次世代型路面電車システム)BRT(バス高速輸送システム)、レベル3の自動運転モビリティ(緊急時を除く限定条件時の車無人運転システム)が検討されている。三宮再整備を進める上でもこれらを視野に入れた道路インフラ整備も必要と考えるが、見解は?

【市の回答】自動運転化への対応など、今後の新たな技術導入を見据えながら、未来志向の移動支援の導入に向けたターミナルや道路空間の整備を行うことを位置付け、民間や国などの関係機関と連携して検討を推進していく。

その他にも、三宮再整備並びにギャンブル等依存症対策についても質疑を行いました。

○平成 29 年度年度決算を認定いたしました。

今議会では、ヤミ専従問題で不当に支払われた給与や退職金などが明らかになるなど看過出来ない状況が発生しました。その結果、決算認定が延期されるなど異例の対応となりました。



我が会派は、以下の2点を前提条件に、平成 29 年度各会計決算及び関連議案、合計 26 件を認定・承認いたしました。

- ・ **不当に支払われた給与等についてはその実態を明らかにして速やかに返還される事**
- ・ **不当給与支払い者について、その責任の所在を明らかにする事**

人口減少社会が進み都市間競争が激しさを増す中、若者を含めて多くの世代から選ばれるまち、誇りを持てるまちを目指し、神戸市がより一層飛躍するように積極的な施策展開を行うと同時に社会福祉施策の充実を期待し、以下の要望を付しました。一部を紹介致します。

〔要望事項の一部〕

- ・ 職場における風通しを良くするため、**公益通報制度**の適切な運用を図るとともに、職務執行上の不正に対しては全職員が適正に意見の言える体制作りを努めること
- ・ **児童虐待**への対応において、警察との情報共有を徹底するとともに、各種関係機関と情報共有できるデータベースの構築を検討すること
- ・ CO₂削減に寄与する**レジ袋削減施策**については、スーパーマーケットはもとよりコンビニエンスストア及びドラッグストアなどの流通業界全体での普及促進を進めること
- ・ 災害時における**長期避難所**においては、学童機能及び学習場所の機能等子どもの居場所づくりに努めること
- ・ **須磨海岸**においては各種 NPO 団体が年間を通じて活動できる施設を整備すること
- ・ **夜間中学**に関しては、市外在住者の受け入れを視野に広域化を検討し、予算措置を含めて県に強く要望すること
- ・ **保育所入所**を希望する際、出産月によって生じる機会不平等を起ささないように努めること
- ・ **学童保育**における放課後児童指導員のキャリアアップ加算については、その対象を65歳まで延長すること

高岸 えいき (東灘区選出)

平成 29 年度決算特別委員会で質疑しました。

○保健福祉局

これまで国・自治体はギャンブル依存症対策についての取組がおろそかにされていたといっても過言ではありません。

高岸えいきはギャンブル依存症対策の早期取組を促すために現状の初動対応の問題や医療体制の未整備状況を指摘し具体的な対策を求めました。

○環境局

路上喫煙禁止指定区域の拡充を市内中心部のみならず各区の声を反映させるとともにポイ捨て防止重点地域での条例に沿った取り締まり強化を訴えました。

レジ袋削減施策では市内のコンビニエンスストアやドラッグストアなども対象にして施策を進めるよう提案しました。決算審査の2日後には国の方でもコンビニエンスストアのレジ袋削減に向けた取組が発表されました。

○総括質疑

会派を代表しての総括質疑ではヤミ専従問題の早期発見・是正されなかったことは本市における内部通報制度が検証できない事が原因の一つであり、制度そのものが担保されていない事を指摘しました。

今後の制度の改正に向けては職員が意見の言える職場作りと合わせて改善するよう訴えました。



いさやま 大介 (灘区選出)

「新しい発想で、課題解決を！」をテーマに決算特別委員会で質疑しました。

○消防局の広報

フジテレビKIDSと連携して作成した動画

「ガチャピン・ムックの火の用心」は、神戸の観光・グルメの要素を取り入れ、

企業等の協賛・協力により公費を使わずに制作。

「youtube」を使った動画配信など、消防局の効果的な広報について質疑。



↑ 消防局の広報動画より

○その他の質問事項

須磨海岸のバリアフリー化/モデル型商店街・市場/シェアリングエコノミー

神戸の自然を生かした「ワーケーション」〔ワーク（仕事）とバケーション（休暇）の造語〕推進